

2 がっひかりごう

令和 7 年 2 月 1 日 輝 保 育 園

もうすぐ発表会です。毎日、子どもたちの元気な声や、楽器の音が聞こえてきます。最初は恥ずかしさや緊張から声がありませんでしたが、練習を重ね自信をもってセリフを言ったり、楽器を演奏したりできるようになってきています。本番、どのような姿をみせてくれるのか楽しみです。寒さや乾燥が気になる時期です。感染症、風やインフルエンザに負けず、予防に気を張りながら元気に過ごしていきましょう。



(((立春)))

立春は、春の始まりの日のこと。暦の上では、寒い冬が終わって、暖かい春が訪れる日とされています。

立春は 2 月 4 日であることが多いですが、その年により変わります。今年は、2 月 3 日です。

★ パレンタインデー ★

2 月 14 日といえばバレンタインデーです。

バレンタインといえばチョコレート。

チョコレートをいつごろから与えるかの方針は各家庭で異なるかと思いますが、少なくとも消化器官が未発達な 1 才半ごろまでは控えたほうがよいでしょう。

チョコレートによる健康効果も広く見聞しますが、食べすぎは厳禁です。

また、歯にこびりつきやすいので、虫歯にも注意しましょう。

2 月の行事予定

4 日 (火) 節分行事

8 日 (土) 生活発表会

13 日 (木) 避難訓練

21 日 (金) 誕生会・身体測定

27 日 (木) 避難訓練 (通報)

＝ ナース・レポート ＝

令和 7 年 1 月 21 日に東京都内で麻しん患者の発生がありました。

(1/22 東京都ホームページより)

麻しんは空気感染で、感染力は極めて強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ 100 パーセント発症します。

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪症状が現れ、2～3 日続いたあと、39℃以上の高熱と発疹が出現します。口の中に白いぶつぶつ、コプリック斑が出現することが特徴です。

麻しんは予防接種で防げる病気であり、定期接種として合計 2 回 (1 才になったとき及び小学校就学前の 1 年間の間)、麻しん風しん混合 (MR) ワクチンの接種が行われています。

MR ワクチンを接種することで、95%程度の人麻しんウイルスと風しんウイルスに対する免疫を獲得することが出来るといわれています。また、2 回の接種を受けることで 1 回の接種では免疫が付かなかった方の多くにつけることができます。

定期接種期間を逃すと自費で高額になるため、定期接種期間に早めに接種することを心がけましょう。



《 《 お願い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

～ 親離れ・子離れ (依存と自立) ～

① 学童期 : 自立への第一歩は、子どもに任せること。

年齢や発達段階に応じて、子どもの自立に向けて、子どもに任せてみるという姿勢をとることが「親離れ」「子離れ」のために必要です。

大人から見て、我が子の力や判断力等が不安な場合もありますが、勇気をもって子ども自身の力を信じて「見守りながら、任せる」ことに取組んでいきましょう。

いつまでも任せることを避けていると、子ども自身の力や判断力が育たず、常に親の意見を求め、自分では行動できない「指示待ち」になるかもしれません。

子どもに任せる第一歩として「お手伝い」があります。

安全面を考慮して簡単なものから始めてみてはどうでしょう。

「洗濯物をたたみ、整理する」、「靴をそろえる」等、親子で話し合ってみましょう。

その際に大事なことは、親が決めるのではなく、子どもに決定させることです。

親に決められたことをするのではなく、自分自身で決めたことを任せることに意味があります。

失敗したり、やらなかったりすることもあるかもしれませんが、「お手伝い」をがんばった過程を見て、たくさんほめてください。

このような経験をすることが、次の思春期にもよい影響を与えます。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

こ
ど
も
の
よ
う
す

たんぽぽぐみ
0 才児



衣服の着脱に興味を持ち始めました。ズボンを履くときに「右足さんはどちらかな？いないいない…」という一生懸命ズボンを引っ張り足をだそうとします。上手く出ると「ばあ」と嬉しそうな笑顔を見せてくれます。着替えの習慣は毎日の繰り返しの中で身に付いてきます。乳幼児期は大人の丁寧な関りが大切です。「自分でやりたいのに上手くできない」と言う時には、「こうするんだよ」や「こうするといいかもね」など、さりげなくサポートすることで「自分で出来た」という大きな成功体験に繋がります。「昨日は出来なかったことが今日は出来た」といった小さな成長を見逃さず「できたね」「すごいね」と声を掛け褒めることでさらなる意欲を引き出していきましょう。

たんぽぽぐみ
1 才児



発表会では、朝のお集りの中で人気の「どんぐりころころ」「やきいもグーチーパー」の歌を歌ったり、踊ったり、おもちゃのタンバリンを持ち、「おもちゃのチャチャチャ」の簡単なリズム遊びを楽しみます。どんぐりころころでは、季節を問わず、いつもリクエストが出る子どもたちの大好きな 1 曲です。やきいもグーチーパーでは、曲のリズム、じゃんけんが楽しく、最後のじゃんけんをするときは、「いっしょ」「かち」と保育者との言葉のやり取りも楽しんでいます。2 曲とも衣装を着た可愛い子どもたちの姿をご覧ください。おもちゃのチャチャチャでは、タンバリンを叩いたり手を振ったりと音が鳴ることがとても楽しくて嬉しそうに叩いています。当日は、たくさんのお客様に緊張して動けなかったり、泣いてしまったりする子も出てくると考えられます。そのような姿も受け止め、来年に繋がる一歩と温かく見守っていきます。

すみれぐみ
2 才児



発表会に向けて練習を頑張っています。音楽に合わせて体を動かし表現することや、絵本の世界を友だちや保育士との言葉のやり取りを楽しみながら練習に参加している子どもたちです。恥ずかしい気持ちを抱えながらも、ステージに立つこと。そして、保育士や友だちと一緒に楽しむことを目標に取り組んでいます。練習中、興奮して落ち着きがなくなり椅子に座れなかったり、おしゃべりをしたりと日常生活の中で日々伝えていることがなかなか身に付いていないのが現状です。当日は、いつもと違う雰囲気、さらに興奮したり、戸惑う姿が見られるかもしれません。話を聞き、約束を守ることや、楽しむこととふざけることは違うということ、色々なことを乗り越え、頑張る子ども達の姿に、心の成長を感じてもらいたいと思います。温かいご声援、よろしくお願いします。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



最近のお気に入り粘土遊びです。丸めて均一に伸ばす事がぐんぐんと上達し、型抜きも上手になりました。「おもちゃは 3 個ずつね」のお約束のもと「1、2、3」と正確に数える姿が増え、遊びを通して数の理解も深まっています。早いもので今年度も残り 2 か月となりました。進級を視野に入れ『遊ぶ時間はいっぱい遊ぶ。頑張る時間はしっかり頑張る。』と気持ちの切り替えを行う経験値をあげています。発表会関連の活動は「頑張る時間」です。集中力に課題があるものの、最近ではキリッとした良い表情が見られるようになってきました。セリフも自信をもって言えるようになりつつあります。「ドキドキしたけど楽しかった!」の言葉が目標です。当日は緊張すると思います。お家の方々の温かい眼差しと拍手で頑張る子ども達を包んでいただけると嬉しいです。

ばらぐみ
4 才児



発表会に向けての活動が増えた 1 月。合奏や劇遊びでは「太鼓をしたい」「〇の役をしたい」と自分がやりたいものを選んで挑戦しました。自分で決めたものだからかとても意欲的で、劇ごこの踊りはその役の子たちで「こう手を上げたら?」「いいね」と話しながら決めました。音に合わせてはじめるように跳ねたり、くるくる回ったり子ども達の自由で豊かな表現に驚くこともありました。自分の意見を言ったり、他児の意見も受け入れたりしながらみんなで力を合わせてつくり上げていきました。発表会ではその頑張りを発揮してほしいと願っています。まだまだ寒くなる 2 月も雪や霜など冬ならではの遊びや体を動かして温まる遊びを楽しんだり、感染症対策として手洗いや咳エチケットについても再度確認したりしながら過ごしていきます。

ひまわりぐみ
5 才児



生活発表会で行う劇では、登場人物の特徴を話し合っセリフにしたり、鳴き声や動きの真似をしたりして神様や動物になりきっています。良いアイデアが浮かばない時は「こうするのがいいんじゃない?」とアドバイスしたり、動物になりきっている友だちに「すごい」と拍手をして褒め合ったりして楽しく取り組むことができています。その反面、自分の出番以外の「待つこと」「見ること」は苦手で課題です。合奏・遊戯は 24 名の力が合わさって、とても迫力があります。厨房の職員からも「今年は力強い音が聞こえてくる」と褒めてもらいました。生活発表会を楽しみにしている反面、恥ずかしさや緊張もある子ども達です。これからは就学に向け、早寝早起きの習慣をつけて遅くても 9 時までには登園し、忘れ物がないか保護者の方も一緒に持ち物の確認をお願いします。

